

むらやま

第1号



編集・発行
村山市教育委員会
学校統合推進室

統合 タイムズ

~GO-TO TOGO~

村山市の学校統合に関する“初めての”ニュースレターをお届けします。

この広報誌は、令和10年から11年にかけて行われる「学校統合」に関する最新情報を、市民の皆様向けにお伝えするために発行するものです。

お届けする内容は「統合準備」に関すること全般ですので、タイトルは「むらやま統合タイムズ」としました。できるだけ“タイムリーに”、しかも、なるべくわかりやすくお伝えしたいと思います。ぜひ、知りたい情報について、ご要望などをお寄せください。

TOP INFORMATION(Topics)

西部地区 学校名称

【西部地区は、市で初の「義務教育学校」】 ～名称が「葉山学園」に決まる～

《義務教育学校は9年制》

市の西部の小学校4校は、葉山中学校と一緒に、小学校（6年間）と中学校（3年間）が、一つの学校になった9年制の「義務教育学校」として発足します。

令和10年4月の開校に向け、諸手続きを進めるため、「学校の名称」（校名）を早めに関与する必要があることから、令和6年度内に校名の公募・投票等の手続きを経て、校名は、「葉山学園」に決定しました。



(図1)
現在の葉山中学校

～西部地区の小学校4校の統合校は、葉山中学校と一緒に、この校舎に9年制の「義務教育学校」として整備される～

統成人語

日本は「四季の国」。春夏秋冬の季節の区切りが明確で、生活にも潤いと豊かさを感じることが出来る。四季がある国は多いが、季節が三か月ごとに、均等に巡る国は、世界でも珍しいらしい。

▼今から約二十年前、市の西側の中学校三校が統合し誕生した新葉山中学校。その校歌は、葉山の四季をまさに「謳歌」する。葉山の雪解け水が、最上川を経て、大海に流れ出るさまを生徒の成長に見立てる。本市出身の遠藤マサさんが作詞し、東北初のプロオーケストラ・山形交響楽団を創設した指揮者村川千秋さんが作曲した。葉山中の十周年記念事業の際は、山響を率いて自ら指揮を振ってくださった。

▼村川さんは、先月末、九十二歳で帰らぬ人となったが、「ラストタクト」は地元村山市での五月の舞台であった。今や国内有数と評される山響。村川さんはその礎を築いた。六十年近い指揮者人生を通して、「音楽は心のミルク」を信条とし、子供たちに生の音楽を届ける「スクール・コンサート」に力を注いだ。

▼オーケストラが奏でる交響曲は四つの楽章から成る。各楽章が異なる性格を持つことで音楽全体に深みと変化をもたらすとともに、聴衆を飽きさせない工夫も加えられていく。その構成は、「四季」にも通じる。マエストロと呼ぶにふさわしい村川さんはまさに、「四季の郷」村山が生んだ宝であった。

学校統合だより

【東部:令和11年/小学校統合
西部:令和10年/小中学校統合】

村山市では、令和10年度から11年度にかけて、市内の小学校が東西2校に統合することが決まっています。現在、統合が順調に進むように、市民の代表からなる「統合準備委員会」を設置し開校準備にあたっています。市の東側（楯岡中学校学区）では、楯岡・西郷・袖崎の3つの小学校が1校に統合し、令和11年4月に開校。一方、西側（葉山中学校学区）では、大久保・富本・戸沢・富並

の4つの小学校と葉山中の計5校が1校に統合し、東側より1年早い、令和10年4月に、9年制の「義務教育学校」 ※1 として開校する予定です。

東西それぞれで、約20人前後のメンバーからなる「統合準備委員会」を設置し、開校までの準備を進めており、このほど、今年度第1回目の統合準備委員会が開催されました。その模様をお知らせします。

西部(葉山中学校区)

令和10年4月に9年生制の「義務教育学校」として開校



令和7年度・第1回準備委員会
(5月28日開催)



※1の「義務教育学校」、
※2の「コミュニティ・
スクール」などの詳細については、
右のQRコードをご覧ください。



東部(楯岡中学校区)

令和11年4月に、小中連携型の統合小学校として楯岡小学校に開校（校名等は今後検討予定）



令和7年度・第1回準備委員会
(6月10日開催)

◆西部準備委員会

○昨年度から組織化されており、今年度第1回目の委員会（委員長：青柳孝雄 戸沢まちづくり協議会会長）では、昨年度の報告や今年度の進め方について、16名の委員で協議されました。3年後の開校に向け、これまでに決まったことは、以下の通りです。

No	検討項目	決まった内容
1	統合学校名称	「葉山学園」とする
2	義務教育学校の学年割	小中計9年間の区切りを4年間・3年間・2年間とする
3	コミュニティ・スクール※2	令和8年度「コミュニティスクール」に移行
4	校舎改修設計	葉山中校舎の不足する教室を「改修」の方法で整備する

◆東部準備委員会

○本年度から組織化され、第1回目の委員会では、鈴木悟氏（楯岡元気なまちづくり協議会会長）が委員長に選出され、今後の進め方などが協議されました。4年後の開校に向け、20名の委員で、5つの専門部会に分かれ、必要な準備を進めていきます。

	専門部会名	検討内容
1	総務部会	学校名・校章・校歌・広報・情報発信・予算等
2	教育課程部会	カリキュラム・児童生徒・交流学习・特色等
3	学校運営部会	基本的運営（給食等）・通学方法・学童保育等
4	地域連携部会	育成会・閉校開校式典・現校舎敷地の利活用等
5	校舎整備部会	必要な教室の整備・学校図書・備品等